

クラブインフォメーション



発行:(公財)鳥取県体育協会 〒680-8570 鳥取市東町1丁目220番地 鳥取県議会棟別館内
TEL:0857-26-7802 FAX:0857-26-8133 E-mail:tabuchi-h@sports-tottori.com 平成30年1月 第101号

中国ブロッククラブネットワークアクション2017開催報告

日時: [1日目] 平成29年11月4日(土) 13:00~17:15

[2日目] 平成29年11月5日(日) 9:00~12:00

会場: 新日本海新聞社中部本社

内容: テーマ

「地域をプロデュースするクラブに必要なこと

～地域資源を活かしたまちづくり～」

[1日目]

1. 共通プログラム「地域スポーツクラブと障がい者スポーツ団体の連携」

2. 基調講演・グループワーク「大江ノ郷に人が集まる理由」

講師: 小原 利一郎氏(大江ノ郷自然牧場 代表取締役)

3. 日本体育協会からの情報提供

[2日目]

1. 基調講演「SNSから発信する浦富海岸の魅力」

講師: 中谷 英明氏(Tottori Blue Snorkel&Photo Service 代表)

2. 事例発表・パネルディスカッション

「地域の課題を地域と上手く連携して解決しているクラブ」

発表者 鳥取県: 梶川 いづみ氏(スポねっとちづ)

島根県: 金山 恵美子氏

(NPO法人 SPORTIVO ひがしいずも)

岡山県: 小野 耕作氏

(NPO法人 きよね夢てらす W-accord)

広島県: 深井 高子氏(一般社団法人 芸北道場)

山口県: 中野 久治氏(NPO法人 Goppoええぞなクラブ)



小原 利一郎氏



中谷 英明氏



グループディスカッション風景

1日目は全ブロック共通プログラムとして、山下忍氏(鳥取県障がい者スポーツ協会スポーツ指導員)による「鳥取県障がい者スポーツ協会に関する情報提供」を行い、障がい者スポーツのとらえ方や障がい者スポーツの現状、鳥取県障がい者スポーツ協会の活動内容についてお話いただきました。

グループワークでは、「知的に障がいのある方」を対象を絞り、クラブのプログラムに参加するにあたって、どのような情報が必要か、その情報をどこから得るのか、誰に相談するのかを話し合い、発表後に講師からアドバイスをいただきました。

また、松田佐恵子氏(鳥取県障がい者スポーツ協会事務局長)からは、「知的障がい者に関する基礎的情報」として、知的障がい者の定義や障がいの特性、支援方法についてお話いただいたことで、総合型地域スポーツクラ

ブで、障がい者と健常者がともにスポーツを楽しむ際に大切なことや接し方など、障がい者の受け入れに対して理解が深まり、疑問や不安が軽減されました。

基調講演では、限界集落に近い地域をどのような思い・方法で観光地に変えていったかの経緯や、地域住民・お客様・スタッフとどのように関わってきたか、仕事に対するこだわり等についてお話しいただきました。

講演内容を受けて行ったグループワークでは、クラブ運営に大切な経営理念の共有や、地域・顧客・スタッフとの繋がりを再確認することができました。

2日目の基調講演では、SNSを上手く活用することで集客できる、画像の撮り方や掲載写真の選定方法、地域の魅力の伝え方やInstagramの活用方法など、クラブ活動のPRに繋がるお話を聞くことができました。

事例発表では、「地域の課題を地域と上手く連携して解決しているクラブ」というテーマで、5クラブから、地域の課題解決に繋がる取組事例を発表いただきました。

今年度の鳥取県開催では、地元クラブにたくさん参加していただき、盛り上げていただきありがとうございました。中国ブロック研修会は、来年度開催予定の島根県が最後となります。県内クラブから多くの皆様方にご参加いただき盛会になればと思います。

総合型地域スポーツクラブ実践講座

平成29年12月3日(日)、倉吉未来中心で「総合型地域スポーツクラブ実践講座」を開催し6クラブ10名のクラブ関係者に参加いただきました。

【参加クラブ】

青谷スポーツクラブ	けたかスポーツクラブ	すなばスポーツ
一般社団法人 ほうきスマイリースポーツクラブ	NPO法人南部町総合型地域 スポーツクラブ スポnetなんぶ	にちなんスポーツクラブ

【講座 I】

講師:横原 義人氏(株式会社コギト東京本社 営業部マネジャー)

演題:「総合型地域スポーツクラブの多様性と運営について」

講座Ⅰでは、日本には日本の文化、地域には地域の文化があるから、他の真似をしてはいけない。総合型クラブの考え方にリンクするやり方を見つけていかなければいけない。地域にとってどのような存在になりたいか、地域の人の思いを吸い上げてそれをビジョンに考えていくと良いクラブになる。何がしたいのか伝えられないクラブの会員増はない。県・市・地域・クラブにはそれぞれのニーズがあるので、総合型クラブが企業・自治体等のつなぎ役になり、官民一体となって住民のニーズを具現化することが大切であるというお話をさせていただきました。

また、地域を活性化する総合型クラブの活動事例をいくつか紹介いただき、今後のクラブ運営に役立つと思いました。



横原 義人氏

【講座 II】

講師:谷塚 哲氏(REGISTA有限責任事業組合 代表)

演題:「総合型地域スポーツクラブの法人格取得のメリットとデメリット」

講座Ⅱでは、法人格の種類、税制の優遇、法人格の必要性等の説明をしていただきました。法人格取得によって、権利義務の主体になれる。任意団体では、権利の主張や、義務を負うことはできないし、個人の責任が重くなり過ぎる場合がある。法人化の必要性として、①団体と構成員個人との責任の切り離し、②ガバナンス(企業ルール)の強化、③外部資金の獲得(助成金・補助金・スポンサー)。

とても、丁寧に教えていただき、法人化に躊躇しているクラブの不安が払拭でき、既に取得しているクラブについても、税制の優遇についてとても役立つ内容でした。



谷塚 哲氏

問題意識をもって受講することで新たな知識や、課題解決の糸口、そして素晴らしい出会いがあるので積極的に参加していただけたらと思います。



受講風景

総合型地域スポーツクラブ指導者派遣事業in鹿の助スポーツクラブ



鹿野町農業者トレーニングセンター研修室にて

平成29年12月18日(月)、鹿野町農業者トレーニングセンターで「総合型地域スポーツクラブ指導者派遣事業in鹿の助スポーツクラブ」を開催しました。

この事業は、クラブが抱える諸問題を解消し持続可能な運営を目指すことを目的としています。

研修会の冒頭、榎先生から「答えは皆さんが持っている。皆さんの中で問題解決してほしい。アドバイスやヒントを伝えていくコーチング的な立場で進めていきたい。」と話されました。

午前中は、クラブ運営委員から経緯説明の後、今後どうすべきか榎先生から質問し考えさせる形式で、クラブ衰退の原因、人が集まらない原因、クラブがやりたい姿について意見を出し合いました。

ビデオ視聴では、参加者・スタッフ全員の笑顔がとても印象的で、住民にクラブが何をやっているのか見てもらい体感してもらうことが大切であること実感し、皆が笑顔になる空気感を作ることが一番重要だということがわかりました。

午後からは、クラブ理念について、指定管理業務等について話し合いました。

クラブの理念につながる言葉を書き出し、クラブのやりたい姿をシンプルに分かりやすい言葉にして、仲間に共有し、皆に共感してもらえるようにする。

来年度から指定管理者となるクラブの自主事業をどうするか。弱者が強者に勝つためには、クラブの強みを活かして差別化し一点集中(的を絞る)、接近戦(1人1人の顔が見える。)にする。(ランチェスター戦略)

最後に、当クラブの谷ロー真代表理事から、「今まで、何をどこまでどの範囲でやるべきだったか曖昧だった。町村合併で鹿野がなくなり、町の福祉・教育・産業等全部やりたかったが出来ないジレンマがあった。鹿の助スポーツクラブを切り口にして何かできるんじゃないかと、目的が漠然として整理できていなかったことに気が付いた。このメンバーで限られた予算と時間の中で、どこまでできるか、目標を絞って指定管理者としてどこまでいけるのか区切って考えないと指針が定まらなと感じた。ワクワクしながら、利用者から「ありがとう!」と言ってもらえ、皆が笑顔になってもらえるクラブ運営、サービスの先に誰が居るのか見据えて、職員のモチベーションを保っていかなくてはならないと感じました。」と話されました

この研修会で、地域の方が何を求め、クラブは何をすべきかを改めて考えることができ、クラブ運営に大切なランチェスター戦略に沿った戦略で、ワクワクする事業を考えていかなくてはと思いました。



鳥取発！スポーツでつながる共生社会充実事業



卓球バレー



スポーツ吹矢



平成29年11月29日(水)、琴の浦高等特別支援学校で、「鳥取発！スポーツでつながる共生社会充実事業」(県特別支援教育課委託事業:地域拠点型)を開催し、琴の浦高等特別支援学校の3年生の生徒に、総合型地域スポーツクラブが行っているスポーツを体験してもらいました。

この事業は、琴の浦高等特別支援学校の在校生に、学校の体育授業で、総合型地域スポーツクラブの存在を知ってもらい、クラブが行っている種目を体験してもらい、学校卒業後、安心して地域で継続してスポーツを楽しんでもらうことを目的としています。

今回は、若桜クラブの岸本さんには、「スポーツ吹矢」「卓球バレー」「フライングディスク」、一般社団法人 山陰リンクの会の杉谷さんには、「バドミントン」を指導いただきました。

4限に、3年3・4・5組の生徒18名、5限に、3年1・2組の11名をそれぞれ半々に分け、1限の間に2クラブの種目を体験してもらう方法で行いました。

スポーツ吹矢、フライングディスク、卓球バレーは初めて体験する子どもが殆どで、授業でバドミントンはありますが、どの種目も大好評でした。

次回は12月13日(水)で、青谷スポーツクラブに「トランポ・ロビックス」、スポーツしよい大山に「グラウンド・ゴルフ」を体験してもらいます。今後1・2年生も体験できるよう、また3年生も継続して、総合型地域スポーツクラブと連携して開催出来たらと思います。

この体験を通して、身近にスポーツを楽しむことができる総合型クラブがあり、様々な種目を提供していることを知ってもらえました。今後、スポーツをする子どもが増えるといいですね。



フライングディスク(アキュラシー)



バドミントン



バドミントン

鳥取発！スポーツでつながる共生社会充実事業



ミニトランポリンの裏を確認



ランニングマンに挑戦

平成29年12月13日(水)、琴の浦高等特別支援学校で、「鳥取発！スポーツでつながる共生社会充実事業：地域拠点型」を開催し、スポーツしよい大山の杉原俊雄会長をはじめ6名のスタッフの方から「グラウンド・ゴルフ」、青谷スポーツクラブの磯邊栄里さんから「トランポ・ロビックス」を指導いただきました。

4限に、3年3・4・5組の生徒22名を半々に分け1限の間に2クラブの種目を交互に体験してもらい、5限に、3年1・2組の11名には、1種目20分間ずつ一斉に体験してもらいました。

グラウンド・ゴルフでは、クラブの握り方・スタンス・スイング方法を教えてもらった後、実際に打ってみました。力の入れ加減や体の向きで、ボールが狙った通りにいかない時もありましたが、すぐにコツをつかみほとんどの生徒が少ない打数でホールポストに入れることができました。

トランポ・ロビックスでは、小さなトランポリンでリズムよく歩く・走る・弾むことができ、普段では体験できない感覚を味わい、思っている以上の運動量があり体幹トレーニングに有効であることを実感してもらえました。

両種目の体験は、生徒たちに大変満足して貰え、興味をもって貰えたことは、必ずや今後につながるものと思います。

関係団体との連携を図り、引き続き各種教室の開催を行うことで、少しでも地域社会に寄与出来たらと思います。

今回ご協力いただいたクラブの皆さん大変お世話になりました。ありがとうございました。



慎重にホールポストを狙う



ボールをよく見て！

クラブ紹介コーナー

スポーツしよい大山＊軽スポーツ体験交流会



スポーツ吹き矢



ボッチャ

平成29年11月8日(水)、スポーツしよい大山・大山町スポーツ推進委員協議会・大山町身体障がい者福祉協会主催の「軽スポーツ体験交流会」が、名和農業者トレーニングセンターで開催されました。

高齢者の方も、障がい者の方も誰でもできる種目として、ボッチャとスポーツ吹き矢の体験をしました。

スポーツ吹き矢では、安達忠良さん(スポーツしよい大山副会長)から、一連の基本動作を教えていただき、腹式呼吸を取り入れた「スポーツ吹き矢的呼吸法」で矢を吹きました。1人5本吹いて的にささった矢の合計点で競いました。最初は吹くコツがなかなかつかめず、矢が的に届かない人もありましたが、徐々にコツをつかみ的に捉えることができるようになりました。

ボッチャでは、薩摩義勝さん(身体障がい者福祉協会の会長)から、ルールと投げ方の説明をしていただいた後、チームに分かれて対戦しました。チームで、どこを狙うか作戦を立てながら、目標のジャックボールめがけて、赤ボールと青ボールを投げ合いました。

皆さんが初心者でしたが、少し練習をしただけでできるようになり、とても楽しんでいただきました。

これからも、定期的に活動する機会があればと思います。

連絡先
スポーツしよい大山事務局
権田 直樹
TEL:0859-54-5212 FAX:0859-54-5217

特別講演会



新井康通氏による講演会

連絡先

スポ net なんぶ事務局

板 真悟

TEL:0859-66-5400 FAX:0859-66-2901

平成 29 年 11 月 27 日(月)、南部町総合福祉センターしあわせで、特別講演会「元気な百寿者をめざそう」が開催され町内から 13 名が参加しお話を伺いました。

講師に、新井康通氏(慶應義塾大学医学部百寿研究センター専任講師)をお招きし、健康寿命の最大の阻害要因である虚弱(フレイル)についてお話いただきました。

平均寿命、健康寿命ともに世界のトップクラスの日本ですが、平均寿命と健康寿命の間には男性で約9年、女性では約13年のギャップがあり、医療・介護負担の増加が懸念されており、当研究所では、虚弱(フレイル)の分子メカニズムの解明に焦点をあて調査・研究に取り組まれています。

健康寿命の達成には高血圧、脂質異常症、糖尿病などの生活習慣病予防、諸臓器の老化の基づく虚弱(フレイル)の予防のための栄養摂取、身体活動、社会参加等が健康につながるのだということがわかりました。

まず、身体運動から始めて健康につなげていけたらと思いました。

また、3年前から味の素株式会社と西伯病院と連携して取り組んでいる「ロコトレ運動教室」の成果を、木村 修氏(西伯病院院長)からお話いただきました。

ロコモティブシンドローム(運動器症候群)を防止するため必須アミノ酸を摂取しながら、自宅で行える軽い運動を行い、筋肉量や体脂肪率の変化を説明いただき、体力に合わせた運動を継続することの大切さを改めて実感しました。

スポーツ庁の視察



大縄跳びの練習中



有田正寿氏・奥田公直氏・板 真悟氏

平成29年 11 月 28 日(火)、スポーツ庁スポーツ課障害者スポーツ係の有田正寿係長が当クラブを訪問されました。

昨年度、「鳥取発！スポーツでつながる共生社会充実事業」の委託を受けた当クラブから、事業実施後の動向や課題等の聞き取りの後、館内と南部町体育館で行われていた陸上教室を視察されました。

障がい者の受け入れには、障がいの程度にもよりますが、人もお金も必要となり、送迎の問題等クリアにしないてはならないことが多々あります。事業を受けたことで、障がい者の受け入れのきっかけにはなりましたが、継続していくための方策を考えていかなくてはと思います。学校・家庭・クラブとの連携強化はもちろん、国や県もどう取り組んでいくか真剣に向き合わなければと思います。

スポーツ庁の有田さんは、11 月 29 日に行われる同事業の視察に、琴の浦高等特別支援学校を訪問されます。

一般社団法人 山陰リンクの会

鳥取発！スポーツでつながる共生社会充実事業



平成29年11月11日(土)、県立倉吉養護学校にて、「鳥取発！スポーツでつながる共生社会充実事業」(県特別支援教育課委託事業:学校拠点型)で、県立倉吉養護学校の生徒・OB、地域の指導者・支援者26名が参加して、「フロアグラウンド・ゴルフ」が開催されました。最初はスティックでボールで打つことや、真っすぐ転がすことができなかった子どもたちですが、今では指導者と同じ位のレベルまで上達しました。指導者の方も「どっちが指導者かわからんようになったわ!」と言われるくらい上手になりました。また、コミュニケーションも上手に取れるようになり、楽しくプレーをすることができます。

12月・1月は「ヒップホップダンス」です。たくさんの生徒が参加してくれるといいです。

地域の支援者の皆様、いつもありがとうございます。

ポイント制 グラウンド・ゴルフ



ボールの行方を見守る



集計を待つ間 ランチタイム

平成 29 年11月14日(火)、大御堂廃寺跡(倉吉市)で「ポイント制グラウンド・ゴルフ交流会」が開催されました。1 グループ 6 名の 7 グループに分け、16 ホールを 2 回(休憩をはさみ)まわり、スコアを競いました。

心配していた雨も上がり、気持ちよくプレーすることができ、ホールインワン続出でした。

前半が終了すると休憩タイムで、おしゃべりと持参したお菓子を皆で分け合ってコーヒータイムを楽しみました。後半 16 ホールを終了した後は、上灘公民館に場所を移し慰労会を兼ねて、集計のできる間、お弁当を皆でいただきました。

表彰では、本日の 1 位～3 位までの表彰とホールインワンを出した方、年間ランキングでは 1 位～3 位までに表彰と賞品、4 位～10 位・ブービー賞・皆勤賞に賞品が手渡されました。

参加者は、毎年 1 年間のランキングが出るのを楽しみに、毎月行われる交流会に参加しておられます。

いかに参加者に楽しんでもらい、喜んでもらうか試行錯誤しながら、今後も色々な仕掛けを考えながら続けてもらえたらと思います。

参加者の皆さんに笑顔になってもらえたら嬉しいです。

連絡先
一般社団法人 山陰リンクの会事務局
杉谷 哲治
TEL・FAX: 0858-28-3939

一般社団法人 山陰リンクの会

「鳥取発！スポーツでつながる共生社会充実事業」



ヒップホップダンスに挑戦



笑顔の素敵な松本亜矢さん

平成29年12月9日(土)、鳥取県立倉吉養護学校体育館で「鳥取発！スポーツでつながる共生社会充実事業」(県特別支援教育課委託事業:学校拠点型)が開催されました。

鳥取県立倉吉養護学校の在校生・OB・保護者・先生・地域の方が参加し、松本亜矢さん(インストラクター)指導の下、ヒップホップダンスを教えてくださいました。(松本さんは、今年度から当学校の体育授業に週に3回出向き指導をされています。)

軽快な音楽に合わせて1つずつ動きを覚え、動きの種類を徐々に増やし、最終的に一連の動きをマスターしました。全員が踊れるようになった後、4つのグループに分け、1グループずつ松本さんの演出の下、みんなの前でダンスを披露しました。

ダウン・サイドステップ・ターン・ランニングマン等の基本動作を取り入れて、最後にかっこよく決めのポーズ！松本さんには常に笑顔で子ども達に接していただき、子ども達もとても楽しそうに踊っていて満足そうでした。

次は、1月13日(土)9時からです。興味のある方は是非参加してみてください。ハマりますよ！

年末フロアグラウンド・ゴルフ交流大会＆関金温泉



和やかな雰囲気プレー



集合写真(湯命館前)

平成29年12月20日(水)、関金町農林漁業者等健康増進施設で「フロアグラウンド・ゴルフ交流大会＆関金温泉」が開催されました。鳥取県東部聴覚障がい者センターから9名、鳥取県中部聴覚障がい者センターから3名の方の総勢46名の参加がありました。

専任手話通訳者の中嶋千鶴さん(中部聴覚障がい者センター)においていただき、健常者とのコミュニケーションを図りながら、16ホールを2回まわり、笑顔で楽しんでもらうことができました。

プレー終了後は、湯命館に場所を移し、昼食をいただきながら集計を待ちました。1位～10位、飛賞、ブービー賞、特別賞に豪華賞品が渡されました。

回を重ねるごとに、障がい者の参加が増えてきています、今後より多くの障がい者の方に参加していただけるよう広くPRしていければと思います。

※依頼すれば、手話通訳者の方にも来ていただけます。

連絡先
一般社団法人 山陰リンクの会事務局
杉谷 哲治
TEL・FAX：0858-28-3939

NPO法人かほくスポーツクラブ＊第15回少年少女バレーボール教室



紫和講師とレシーブ練習



江藤講師からサーブ指導



アタック練習

平成29年12月10日(日)、三朝町総合スポーツセンター体育館で「第15回少年少女バレーボール教室」が開催され、鳥取県中部のスポーツ少年団(バレー)、東部、西部から各1チーム及び藤田さんが大阪で指導されている男女バレーボールチーム、15チーム157名の参加がありました。(当日、1チームがインフルエンザで不参加となりました。)

この教室は、ジュニア時代におけるバレーボールの練習方法やサーブ・レシーブ・スパイク等の基本の指導をトップアスリートから学ぶこと、昨年発生した鳥取県中部地震の復興を祈念して開催されました。(この事業の一部に、「鳥取県体育協会賛助会費支援金:トップアスリート招聘事業」が充てられました。)

指導者に、元日本代表の藤田幸光氏・紫和昌修氏・江藤直美氏をお招きし、パス・サーブ・レシーブ・アタック・セッター練習を丁寧に指導いただき、交流試合を行うなど充実した1日でした。

最後に抽選でプレゼントが手渡され、子ども達は大喜びでした。

鳥取県でトップアスリートと触れ合う事や指導を受ける機会が少ないので、子ども達の励みや夢に繋げるために継続して開催できると嬉しいです。

スタッフの皆様お疲れ様でした。



3人でボールをつなぐ練習



藤田講師によるレシーブ指導



交流試合

連絡先
NPO法人かほくスポーツクラブ事務局
徳丸 宏則
TEL:0858-24-6465 FAX:0858-24-6466

NPO法人ウルトラスポーツクラブ＊サッカー＆たいいく教室



サッカー教室

平成29年12月23日(土祝)、境港市民第2体育館で「サッカー＆たいいく教室」が開催されました。

年中～小学年生までの90名が参加し、半々に分かれて、サッカー教室とたいいく教室の両方を体験しました。

サッカー教室では、風船やボールを使って、みんなでコミュニケーションを図りながら、楽しく身体を動かすこと、たいいく教室では、マット運動や鉄棒を使って身体を動かすことの楽しさや人と関わることを体験しました。

風船でリフティングは、初めてサッカーをする子どもでも簡単にすることができ、サッカーが楽しく好きになってもらえるのではないかと思います。

身体作りに大切な時期に運動する習慣を身に着けることや、身体全体を動かすことでバランス感覚や体力作りに役立つ体験ができたと思います。

当クラブには競技力の向上はもちろん、人間形成にも力を入れており、楽しく熱心な指導者の方が多く在籍されています。ウルトラスポーツクラブから、未来のJリーガーを目指そう！



たいいく教室



集合写真

連絡先
NPO法人ウルトラスポーツクラブ事務局
金坂 博
TEL・FAX:0859-57-5170